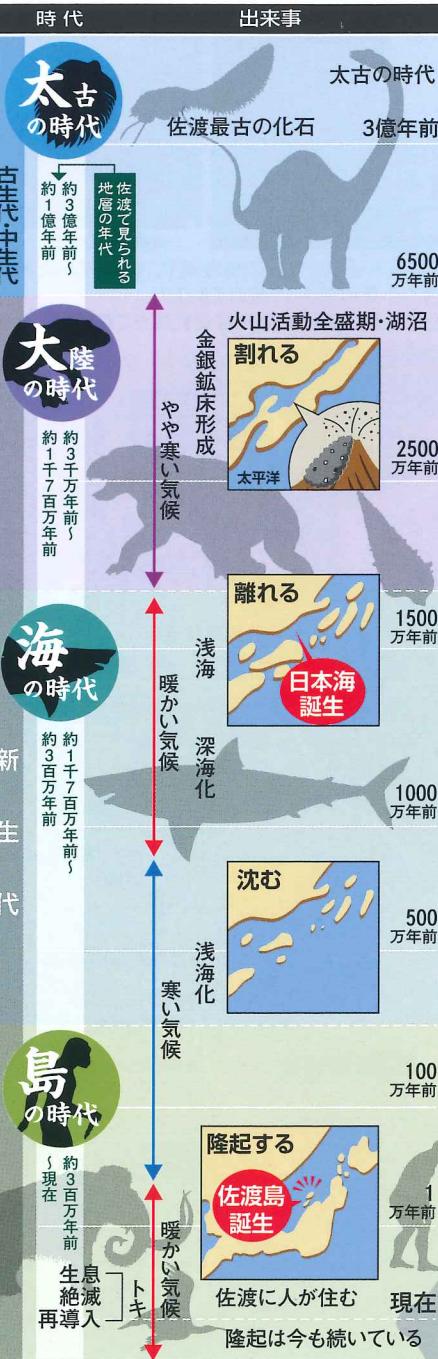


国中平野・加茂湖エリアの歴史（地史）

※歴史年表を見ながら読んで下さい。

現在の佐渡島になるまでの歴史年表

ジオパークおすすめ
国中平野・加茂湖散策スポット

① トキの森公園 開0259-22-4123

有料

公園内にはトキの保護増殖や野生復帰などを解説した「トキ資料展示館」とトキの生態が観察できる「トキふれあいプラザ」があります。枝豆ソフトも人気があります。



② 佐渡汽船両津港ターミナル8F展望室(朱鷺神社)

朱鷺神社の分社が置かれている展望室は、ビルの8階にあります。カキ養殖のいかだがよく見える見晴らし良好のビューポイントで、加茂湖の成り立ちが分かる看板も設置されています。



③ 佐渡博物館 開0259-52-2447

有料

佐渡の自然・考古・歴史・民俗・美術工芸を展示した総合博物館。佐渡の成り立ちや金銀鉱床形成、希少な動植物など様々な情報を得る施設として大いに活用できます。



④ 新穂歴史民俗資料館 開0259-22-3117 有料

郷土芸能や民具、トキなど佐渡の歴史と文化に関する資料、新穂玉作り遺跡から出土した勾玉、管玉などが展示されています。その他、裂き織りや勾玉作りも体験できます。

★加茂湖は
3つの顔をもつ
島の時代

1 加茂湖は金北山の水鏡



風のない早朝、四季折々のおしゃれをした金北山（佐渡最高峰1172m）をご覧ください。

2 カキを育む豊かな加茂湖



湖面に浮かぶ400余りのいかだでカキ養殖が行われています。

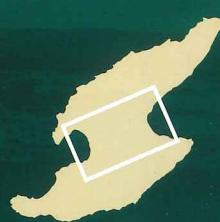
3 佐渡にもあった天橋立



ドンデン山から加茂湖を眺めると、両津湾の奥が砂の橋（砂州）で仕切られて、加茂湖ができることが分かります。加茂湖は新潟県内最大の湖です。

3億年の旅とひとの暮らし

トキが舞う金銀の島



★島にできた大砂丘地帯

1 大きな砂丘はなぜできた?



佐渡最大の川、国府川から流れ出す土砂と、真野湾から吹く南西の風が島に大きな砂丘を作りました。

2 砂丘を利用した名産品

④八幡(佐和田)・四日町(真野)の畑



砂丘を利用して、八幡芋やチューリップの栽培が盛んに行われています。

3 佐渡のサンドビーチは面白い!



国府川の河口には広い砂浜がつくれられ、たくさんの貝殻が打ち上げられています。お気に入りの貝を探してみませんか。



★国中平野は海だった!

⑤白雲台から見た国中平野(金井)



佐渡の穀倉地帯である国中平野は、海から湖、湖から低地へと姿を変えてきました。農家の人は国中平野の真ん中にある田んぼを「沖の田んぼ」と呼びます。



★玉作りの材料は何処から?

⑥下畠玉作り遺跡(畠野)



赤玉石や青玉石を細工し、勾玉や管玉をつくった弥生時代。材料となったきれいな石は、小佐渡の山奥から小倉川を通って流れました。

勾玉、管玉の出土品及び製造工程は新穂歴史民俗資料館でご覧下さい。

★新穂銀山

1 小佐渡の鉱山 No.1

⑦新穂銀山跡(新穂)



新穂銀山は古い歴史を持つ小佐渡最大の鉱山。最盛期には千軒もの屋敷があったといわれています（滝沢千軒）。



2 本尊が向いている方向に金が出る!



佐渡の古刹(こさつ)の一つである清水寺(せいすいじ)。本尊様が向いている方角(南東)に金が出るという言い伝えが残されています。(新穂銀山、柿野浦黄金山など)

